

2	単元名	1 課 挨拶	2 / 2
---	-----	--------	-------

### 1 単元目標 簡単な挨拶や返事ができる

### 2 単元の指導内容（本時 2 / 2）

課	単元	指導内容	主な表現と語彙（例）	字
1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶と返事</li> <li>自分の名前</li> </ul>	「おはよう」「こんにちは」 「ありがとう」「ごめんなさい」 自己紹介	自分の名前
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な表現での返事</li> <li>平仮名の読み書き</li> </ul>	「わかる・わからない」 「いい・だめ」「先生、トイレ、いい？」 1・2・・・4・5	し・あ い・う

### 3 本時の指導目標

- (1) 簡単な表現で返事ができるようにする。（「いい・だめ」「分かる・分からない」）
- (2) 平仮名を読んだり書いたりできるようにする。（し・あ・い・う）

### 4 指導のポイント

- (1) 実際に簡単な返事ができるよう、繰り返し練習をさせる。
- (2) 平仮名「し・あ・い・う」とそれを含む単語を正しく読んだり書いたりできるように、カード等のゲーム活動を取り入れながら練習させる。

### 5 アクティビティ（活動）の方法及び留意点

#### 【活動】

- 悪い姿勢をして見せたり、ごみを散らかしたりするなどの「悪い」行為をして、「だめ」と言う。その後、姿勢を正したり、ごみを拾ったりして「いい」と言う。様々な「悪い」・「いい」行為をして見せ、「だめ？」「いい？」と発話を促す。
- 難しい計算と簡単な計算、母語の文字と日本語の文字などの板書や絵を見せ、「分かる」・「分からない」を発話させながら使い方を理解させる。

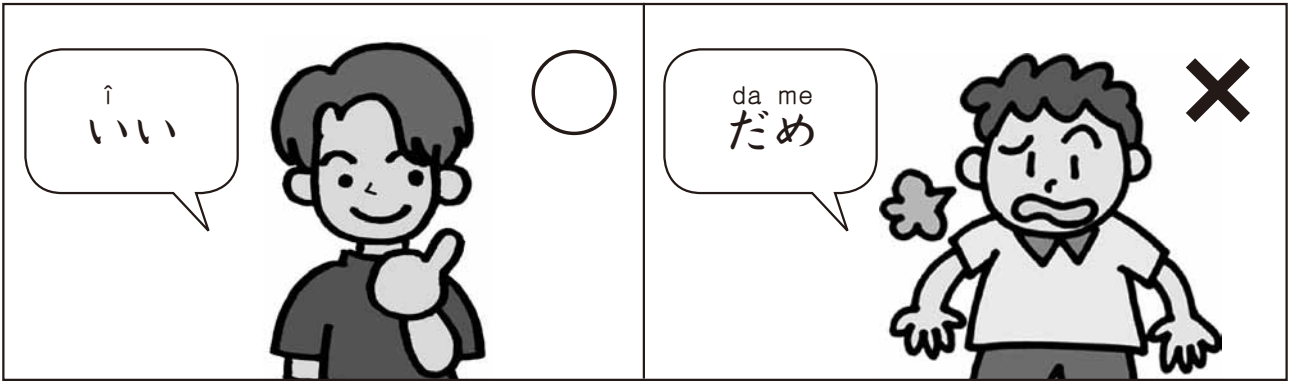
#### 【留意点】

- 始めの挨拶  
教師の後について、授業開始の挨拶をさせる。その際、「これから」「日本語の」といった短い文節に区切って復唱させると効果的である。
- 前時の復習  
前時で練習した表現を絵やカードを見せながら、教師の後について復唱させる。
- 50音表の活用  
日本語の50音が、あ・い・う・え・おの母音が基本になっていることを示し、発音練習を行わせる。【発展】高学年児童及び中学生には、50音表を持たせて、言葉を読む際の補助として使わせる。

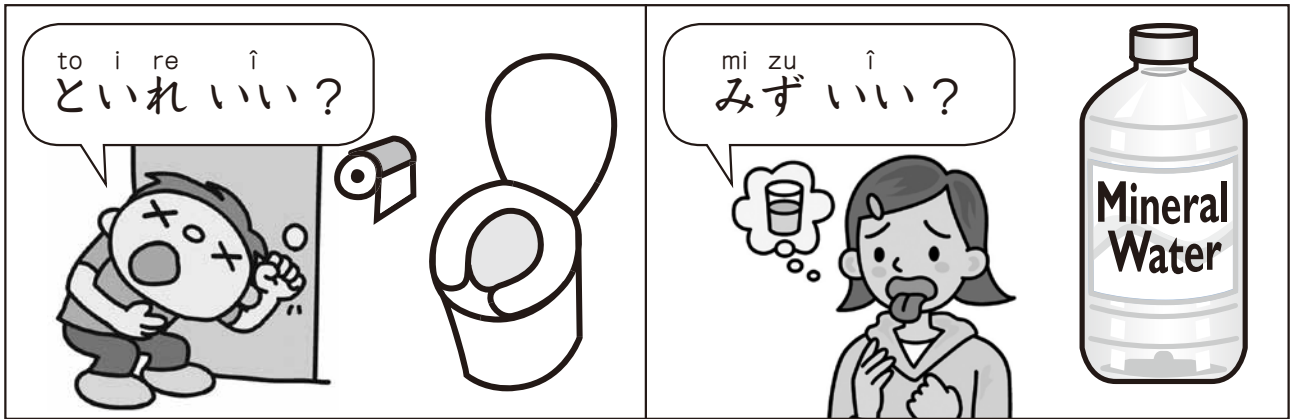
## 6 本時の展開

	学習内容	指導内容等	留意点・教材
挨拶	前時の復習 「こんにちは」 「おはようございます」	・「こんにちは」「これから日本語の勉強を始めます。」「よろしくお願ひします。」など、前時に練習した言葉を一とおり復習する。	・児童・生徒の実態に合った表現を練習させる。
活動1	表現① 「いい」「だめ」  「せんせい、トイレ、いい？」  「せんせい、みず、いい？」	・教師が笑い顔をして○を書いて、「いい」と言う。怒っている顔をして×を書いて「だめ」と言う。「いい」行為・「悪い」行為をして見せ、「いい」「だめ」の場面を理解させ、何回も繰り返し練習を行う。 ・トイレに行きたいジェスチャーをし、「先生、トイレ、いい？」を繰り返し練習する。教師は「いいよ」と言って、実際に児童・生徒をトイレに連れて行き、言葉の使い方を理解させる。 ・上記と同様に指導し、水飲み場まで連れて行き、使い方を理解させる。	・ノートに絵や母語の発音や意味を書かせる。  ・実際にトイレに児童・生徒を連れて行き、トイレの使い方も確認させる。
活動2	表現② 「わかる」「わからない」	・児童・生徒が明確に判断できる場面を設定し、「分かる」「分からない」を理解させ、発話させる。	・絵や母語を用いてノートに書かせる。
活動3	表現③ 「1から5」までの数	・1・2・3・4・5の数字と言ひ方を記入したカードを2枚ずつ用意し、「分かる？」と尋ねる。サイコロの目の出た数を言う練習も行う。	・【発展】＋、－、＝の意味と読み方を理解させる。 ・1から5までの練習なので、6の目にはシールを貼り、「無い」を紹介する。
活動4	文字 「し・あ・い・う」を書く。	・「し」の書き方を「しー静かに」と言う形から導入し、「し」と「あ」「い」「う」を組合せて、「あし」「いし」「うし」ができることを示す。	・カード合わせなどのゲームを活用する。 【宿題】 ひらがな練習帳
挨拶	終わりの挨拶	「これで・日本語の・勉強を・終わります。」「ありがとうございました。」	・短いフレーズに区切って復唱させる。

7 教材・ワークシート



ぱ	ば	だ	ざ	が	ん	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
pa	ba	da	za	ga	n	wa	ra	ya	ma	ha	na	ta	sa	ka	a
ぴ	び	ぢ	じ	ぎ			り		み	ひ	に	ち	し	き	い
pi	bi	ji	ji	gi			ri		mi	hi	ni	chi	shi	ki	i
ぷ	ぶ	づ	ず	ぐ			る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
pu	bu	zu	zu	gu			ru	yu	mu	fu	nu	tsu	su	ku	u
ぺ	べ	で	ぜ	げ			れ		め	へ	ね	て	せ	け	え
pe	be	de	ze	ge			re		me	he	ne	te	se	ke	e
ぽ	ぼ	ど	ぞ	ご			を	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ
po	bo	do	zo	go			wo	ro	yo	mo	ho	no	to	so	ko
															お
															o



<p>i chi いち</p> <p>1</p>	<p>ni に</p> <p>2</p>	<p>sa n さん</p> <p>3</p>	<p>shi yo n し・よん</p> <p>4</p>
<p>i chi いち</p> <p>●</p>	<p>ni に</p> <p>● ●</p>	<p>sa n さん</p> <p>● ● ●</p>	<p>shi yo n し・よん</p> <p>● ● ● ●</p>
<p>go ご</p> <p>5</p>	<p>ta s(u) たす</p> <p>+</p>	<p>hi ku ひく</p> <p>—</p>	<p>wa わ</p> <p>=</p>
<p>go ご</p> <p>● ● ● ●</p>			

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23
- 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29
- 30